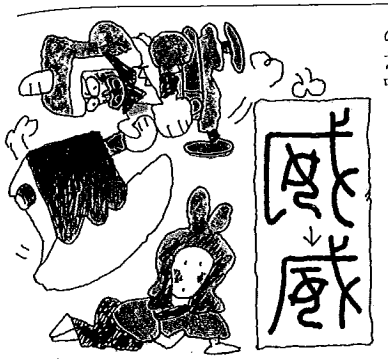
威

9画

くん　おん　イ

なりたち　鉞（まさかり）（大形の斧）の本字の戊（つえ）と女との会意形声字。か弱い女を鉞で、〝おどす〟ことを表した字。〝威（おど）す・畏（おそ）れる〟こと。また、〝強い勢い・厳（かい）めしい・厳か〟の意味。



いみとじゅくご

▼威（おど）す。恐れさせる。

威嚇…人をおどしつけること。**例** 威嚇射撃

威圧…権力や威力で恐れさせて押さえつけること。**用例** 相手を威圧する眼光。

脅威…おどすこと。おびやかされること。**用例** 背後からの脅威に備える。

▼強い勢い。

威勢…❶人を恐れさせ、服させる力。❷元気。勢い。

威光…人が自然と敬い服するような力や勢い。

威信…威光と信望。**用例** 威信を高める。

▼いかめしい。厳か。

威厳…堂々として厳かな様子。**用例** 威厳に満ちた態度。

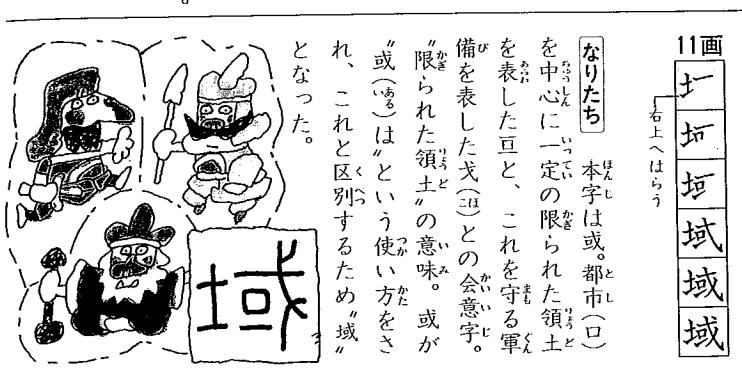
威風…威厳があって立派な様子。**例** 威風堂々。

よみかた　威儀・威力・権威

域

【6年】

11画



くん　おん　イキ

なりたち　本字は或。都市（口）を中心に一定の限られた領土を表した亘と、これを守る軍備を表した戈（ほこ）との会意字。〝限られた領土〟の意味。或が〝或（ある）は〟という使い方をされ、これと区別するため〝域〟となった。

いみとじゅくご

▼限られた土地。

区域…区切ったある一定の場所。**例** 制限区域

地域…他の場所から区別された、ひとまとまりの場所。**例** 地域社会

流域…川の流れに沿った地域。**例** 荒川流域

境域…❶土地の境。❷他と区分される、ある範囲の地域。

神域…神社の境内。

域内…区域の内部。範囲の中。

▼国。地方。

西域…中国から見た西方の地域。玉門関・陽関から西をいう。広義ではペルシアなど中近東の国々を含む。

異域…異国。外国。

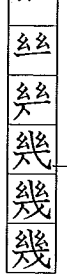
▼ある限られた範囲。

音域…声や楽器の、出せる音の範囲。**用例** 音域が狭い。

芸域…芸の範囲や程度。

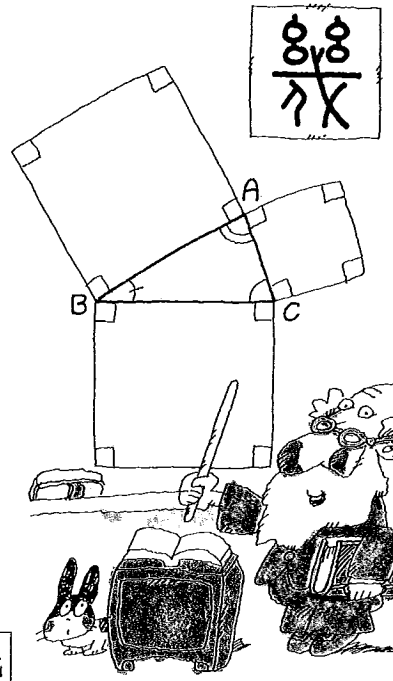
幾

12画



くん　おん　キ　いく

なりたち　緒（いとぐち）を表し〝幽（かす）かな兆し〟の意味の幺と、人と戈（ほこ）とで〝武器をとって守る〟意味の戌（じゅ）との会意字。兵士は微（かす）かな兆しに注意する。〝微かな兆し〟の意味。転じて、〝幾らか〟の意味。



いみとじゅくご

▼幾らか。いくつか。

幾何…「幾何学」の略。物の形や大きさ、位置など、空間の性質を研究する数学の一分野。

幾重…❶幾つもの重なり。❷重ね重ね。**用例** 幾重にもお願い致します。

幾多…幾つもの。数多くの。**用例** 幾多の困難を克服して成し遂げられた事業。

幾分…少し。ある程度。

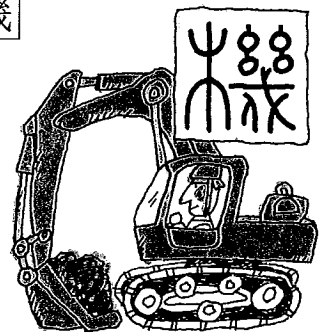
機

【4年】

16画

くん　おん　キ　はた

なりたち　微（かす）かな兆しの意味の幾と、木との会意形声字。微かな兆しが大事件の緒（いとぐち）と成るように、大きな働きをするための〝仕掛け（機械）〟を表した字。また、〝兆し・きっかけ〟の意味。また、〝織（機（はた））〟の意味。



いみとじゅくご

▼仕掛け。装置。機械。

機械…動力によって動き、ある仕事をする装置。

機関…❶動力装置。エンジン。❷ある目的を果たすために設けた組織。

機構…❶機械の構造。❷組織の仕組み。

機器…機械・器具類の総称。

▼きっかけ。分かれ目。

動機…動くきっかけの意味。物事をやる気になったきっかけ。

転機…別の状態に移るきっかけ。分かれ目。

▼ちょうどよい時。

時機…物事をするのにちょうどよい時。好機。機会。

待機…時機（チャンス）が来るのを準備して待つこと。

▼重要。

機密…重要で秘密なこと。